

TachiMachi

Report

RYUNOSUKE NAKAMURA
日墨2

2026年1月号

1月の目標と結果

元の生活にしっかり戻る

→1月の12日から新年のCEPE学期が始まるという、大分正月期間を延長したみたいな休み期間が終わるのですが、ここまで休暇期間が長いと元の生活に戻るのがとても不安でした。ちゃんと元の生活に戻る苦勞をしましたが、今ではすっかりシティの生活に復帰できております。

CEPEから出た後の所属先をしっかり考える

→私が現在所属しているCEPEのレベルは7なのですが、7が終わって後はUNAMもしくは学外の活動を行いたいと思っています。UNAMで言いますと国際関係の学部に興味がありますし。インターンという手もあります。日々悩んでおりますが、しっかり先のことを考えられたと思います。

卒業論文を頑張る

→休学中の身ではありますが、メキシコでも細々と続けていた卒業論文ですが、いよいよ本格化をしていかないと痛い目を見そうな未来しか見えませんので、本格的に頑張りはじめました。最初の数ヶ月で行きつけになったカフェを覚えていますでしょうか。昔のことが身を結び、今も通っています！

乗ってきたよトレン・エル・インスルヘンテ

さあ、長い旅行という名の逃避行が終わり、メキシコシティへ戻る方法はたくさんあれど私が選んだ道はあまりに特殊でした。トルーカ・メキシコシティ間高速鉄道。ロス・カボスからトルーカへ小一時間の空の旅を終え、トルーカの駅に向かう私の気持ちは期待で溢れているのでした。と言いますのも、前回のセネギジャへの道すがら見た鉄道の通る高架橋の上からの景色を見ることができるからです。さて、駅に着いた私は交通系ICカードにチャージしようと自動切符販売機に向かいますが、動かない模様。仕方なく有人切符売り場を使おうとするも幹線道路の反対側...なんとか辿り着くもお釣りがないと跳ね返されました。ホームで黄色い線の内側で待ってますと壁まで下がれと注意もされました...黄色い線の意味はなんだったのでしょうか。メヒコ、マヒコですね!高架橋からの景色は最高でしたが、この速度は高速なのか?と思うような速度で着いたサンタフェ。メキシコシティのオブセルバトリオまでの開通はまだまだ先のようですね。サンタフェで家の近所まで走っているバスの案内に従って行くとバス停があるので待っていること2時間弱、全然バスが来ません。やっと来たバスは当然満員バスなわけですが、立ち続けて小一時間の帰路に着く中村でした。



高架橋からの景色

車内の様子

あの有人切符売り場

だし巻きの話

私は居酒屋に行くとき絶対にだし巻きを頼むほどだし巻きが好きなのですが、最近だし巻きが恋しくて恋しくてたまりません。と言いますのも、私の巻くだし巻きは、関東風と言いますか、母に習った砂糖の入った甘いだし巻きなんです。ただ居酒屋の出汁がたくさん入った関西のだし巻きが食べたいということでやってきたメキシコシティの居酒屋、出てきたものはカピカピに乾いた味のしないオムレツ的な何かでした。食べ物でそこまで怒ることがない私ですが、だし巻きを期待していた分落胆の仕方が大きく、よだし巻きロスが加速するのでした。私の理想のだし巻きにはいつ巡り会えるのでしょうか。

私的今月の音楽 Musica del mes



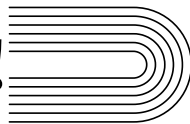
Desvelado

-Bobby Pulido-



別に失恋したわけじゃないですよ!ただ思い出すこともありますし、心に来るものがあります。彼女に恋をしたけど、本当の彼女のことは知らなかったとか、眠れませんかあなたを思い続けますという詩的なところがいいです。JoseJoseといいLuisMiguelといいメキシコの歌手はこれだから....

1月号も拡張版!! 行ってきた州紹介②!



バハ・カリフォルニア・スル編

バハ・カリフォルニア・スル州 (Baja California Sur) は、メキシコ北西部の細長いバハ・カリフォルニア半島の南半分に位置する州で、太平洋とカリフォルニア湾に囲まれた自然豊かな地域です。ですので去年の最後の日の入りと今年の初日の出は両方とも海へ海からと贅沢をしました。ロレトなどの歴史的な町やシエロデサンフランシスコの壁画など、自然・観光・歴史がバランスよく楽しめる州として人気ですが、今回は州都のラパス、そして海辺のアートの小さい街の都ドスサントス、世界的に有名なリゾート地のカボ・サン・ルーカスに行ってきました。透明度の高い海、砂漠と海が出会う独特の景観、クジラウォッチングやダイビングなどのエコツーリズムが特に知られているバハカリフォルニア州ですが、今回一番楽しんだのはクラフトビール巡りでした。12月の真冬に半袖半ズボンで、海辺近くで飲むクラフトビールの数々はとても美味しかったです。メキシコシティに戻ってから瓶ビールに戻るのに苦労しました。



Baja California Sur



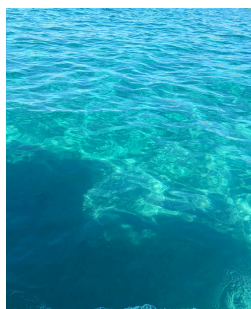
バハカリには飛行機で2時間弱で行けるのですが、なんと今回は車とフェリーを使って合計移動時間30時間弱かけ行きました。メキシコシティよりナヤリトの小さな村のサンブラスへ10時間旅、一泊後シナロア州はマサトランへの4時間ほどかけ行ったのちにマサトラン-ピチリング間を14時間かけてフェリーで渡り、ピチリングよりラパスへ至ったわけです。素晴らしい経験だったと思います!



La Paz



エスピリトゥ・サント島へ



透き通った水!

最初についた町はバハ・カリフォルニア・スル州の州都のラパス・カリフォルニア湾沿いに位置する落ち着いた港町で、透明度の高い海と穏やかな雰囲気が特徴。整備されたマレコンを夕方に歩いたり、バランドラ・ビーチやエスピリトゥ・サント島などの自然景観が有名で、すごい観光地という感じがしなくて楽しかったです! 一週間弱滞在しましたが、アクティビティに困ることもなくゆっくりと港町を楽しむことができました! !



Todos Santos

トドス・サントスは、バハカリの太平洋岸にある小さな歴史町で、芸術と自然が調和した「プエブロ・マヒコ (魔法の町)」に指定されています。カラフルなコロニアル建築やギャラリー、カフェが集まり、アーティストの小さな町として有名です。周辺にはサーフィンで知られるセリートス・ビーチがあり、サーファーの聖地の一つでもあるようです。

また、EaglesのHotel Californiaが作られたという都市伝説のあるホテルも存在してとってもヒッピーな町になっております。メインの場所が本当に道2本しかない小さな場所なので一泊二日ほどあれば十分な場所だと思います。



Cabo San Lucas



有名なアーチ! エル・アルコ

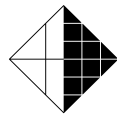


大晦日はすごいパーティー

やってきました。とっても有名なメキシコ有数の国際的リゾート地、カボサン Lucasです。太平洋とカリフォルニア湾が交わる場所にあり、海から突き出たエル・アルコが街の象徴として知られています。高級リゾートやマリナーが集まり、ビーチ、マリンスポーツ、ナイトライフが充実。特にアメリカからの観光客に人気で、街中は全部英語でした。人生でベスト10には軽く入る馬鹿騒ぎがクラブで毎週末行われている模様。

あの、ホステルに絶対いる何やってるかわからない60代の方々の収入源が気になってしょうがありませんが、一人旅のいいところを全て満喫できた良い旅でした。一緒に回ってくれたコンパたちには感謝しかありません。いつも一度旅に出れるかわかりませんが、次のためにお金を貯めます!

1月の様子



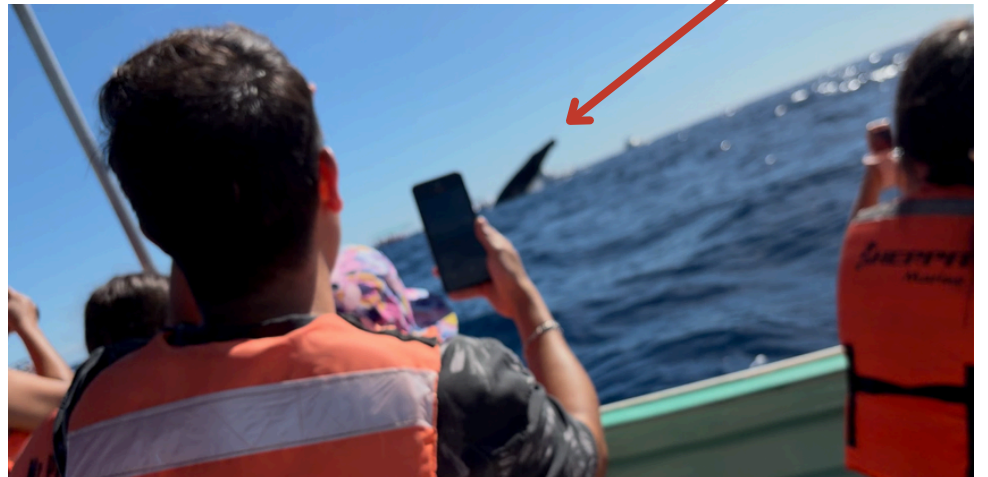
サンホセ・デル・カボにも行きました



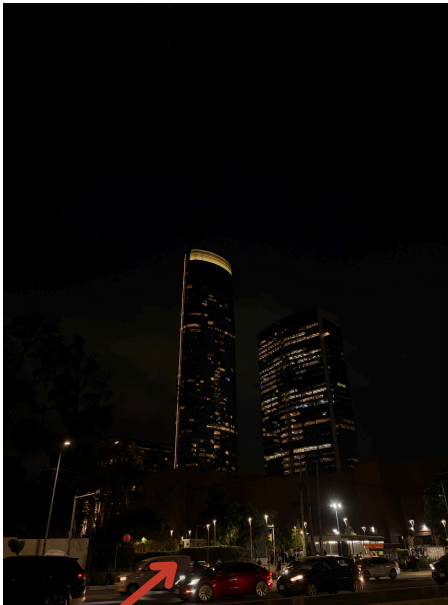
カボのクラブの様子



ビールで乾杯！！



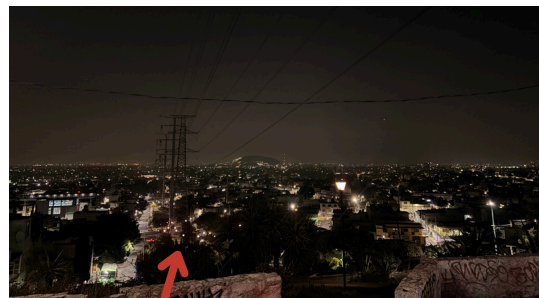
見えにくいですが、鯨が飛んでます



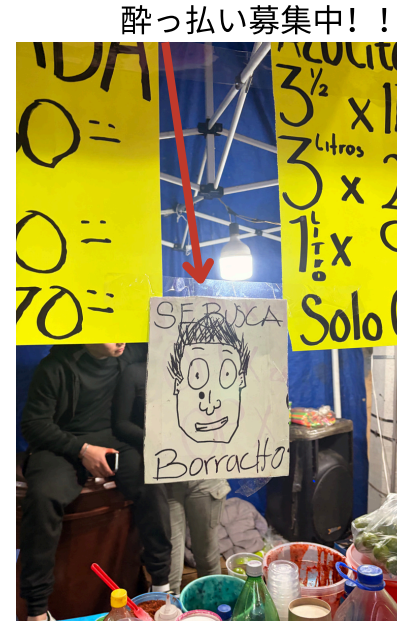
ただいまCDMX！！



初めて行ったメトロの壁画



メキシコシティの夜景イスタパラパより



酔っ払い募集中！！

インスタで絵画やメキシコ生活も投稿しています。ぜひ！

insta: itsjustnosuke

noteではより物語調に面白おかしく日記的なものを書いています！

note: Nonoのフリーク記 メキシコ墮落記編

ポートフォリオ出来ました！ : <https://www.nonoartportfolio.com/>



中村 龍之介

どうも高橋一生です。嘘です。マッチ箱ってロマン溢れますよね。今とてもマッチ箱を作りたい。なんなら配りたいですね。もう名刺がわりなんかにしちゃったりして。今の時代どこのホストもそんなことして無いですよ